

令和元年上尾市議会12月定例会
市政に対する一般質問 答弁要旨

(教育関連部分抜粋)

目 次

〔令和元年12月16日(月曜日)〕

- 星野 良行 議員…………… 1
 - ・ 令和2年度予算編成について
- 戸野部 直乃 議員…………… 1
 - ・ 台風19号から見えてきた課題解決に向けて

〔令和元年12月17日(火曜日)〕

- 海老原 直矢 議員…………… 1
 - ・ 性的マイノリティ・ジェンダー政策について
 - ・ 学習支援について
- 田中 一崇 議員…………… 2
 - ・ 予防接種について
- 池野 耕司 議員…………… 2
 - ・ 貢献寿命をのばす取組みについて

〔令和元年12月18日(水曜日)〕

- 小川 明仁 議員…………… 3
 - ・ 予算執行状況と編成について
- 新道 龍一 議員…………… 3
 - ・ 子ども達の安心・安全の確保について
- 斎藤 哲雄 議員…………… 4
 - ・ 子どもたちの教育・環境について
- 平田 通子 議員…………… 5
 - ・ 子どもの居場所づくりについて
 - ・ 瓦葺・尾山台・原市地域の諸問題

〔令和元年12月19日(木曜日)〕

- 池田 達生 議員…………… 6
 - ・ 都市計画道路・西環状線の現状と事業化について
- 糟谷 珠紀 議員…………… 7
 - ・ 子どもたちに豊かな未来を
 - ・ 20年後の上尾市を見据えて

〔令和元年12月16日(月曜日)〕

●星野 良行 議員

・ 令和2年度予算編成について

●市長マニフェストの進捗について伺う(スポーツで市民が元気になる街)。

○教育総務部長 オーストラリア柔道チームとの事前キャンプ覚書締結及びホストタウン登録を行い、チームの受け入れ態勢を整えました。今年8月に開催された世界柔道選手権東京大会での事前キャンプの際には、県立武道館において市内の小中学生との交流も深めたところでございます。来年開催される「東京2020オリンピック・パラリンピック」の成功に向け、引き続き気運醸成事業にも取り組んでまいります。また、上尾市平塚サッカー場につきましては、人工芝化及び夜間照明設備を整備する改修工事を進めており、来年4月にリニューアルオープンの予定でございます。今後も、スポーツで市民が元気になる街の実現に努めてまいります。

●市長マニフェストの進捗について伺う(文化と芸術があふれる街 文化芸術施策の推進)。

○教育総務部長 今年9月に市指定無形民俗文化財の「畔吉ささら獅子舞」を、ラグビーワールドカップ熊谷会場の「おもてなしエリア」にて上演し、好評を得ました。これからも市内外に向けてより多く上尾市伝統文化の情報を発信していけるよう取り組んでまいります。引き続き、文化と芸術があふれる街の実現に努めてまいります。

●戸野部 直乃 議員

・ 台風19号から見えてきた課題解決に向けて

●学校に非常用電源は設置されているのか。

○教育総務部長 平成23年度以降に大規模な改築をした富士見小学校、中央小学校、上尾中学校の校長室や職員室には非常用電源が設置されておりますが、それ以外の教室やその他の市内小・中学校に非常用電源は設置されておられません。

〔令和元年12月17日(火曜日)〕

●海老原 直矢 議員

・ 性的マイノリティ・ジェンダー政策について

●混合名簿の導入について見解如何。

○学校教育部長 学校で使用する名簿につきましては、児童生徒一人ひとりの人権を尊重する視点から点検をしていくよう学校に伝えてまいります。

●混合名簿について、性的マイノリティの当事者団体からも要望が上がっており、明確に人権課題となっていると認められているが、教育委員会としては人権課題であると認識しているのか。

○学校教育部長 人権課題として認識しております。

●市内の小中学校での混合名簿の使用状況について、教育委員会として把握はしているのか。している場合状況、していない場合今後調査する意思はあるのか。

○学校教育部長 個々の名簿につきましては、各学校が取り扱っております。学校が教育委員会に提

出している児童生徒名簿のうち、混合名簿となっているのは、東中学校向原分校のみでございます。

・ 学習支援について

●支援員を配置するための基準はどうなっているのか。

○学校教育部長 児童生徒の状況や保護者の意向などを踏まえ、学校生活や授業において支援が必要であるかについて、校長が総合的に判断し申請しております。教育委員会は、校長からの申請に基づき、日本語指導職員を派遣しております。

●文科省によれば日常言語と学習言語の習得には必要な期間が異なるとされているが、外国人児童生徒の入学・編入時に学習言語の習熟状況について確認が為されているか。また、日本語指導職員の配置において、学習言語が習得されているかが考慮されているか。されている場合その方法、されていない場合その理由。

○学校教育部長 各学校では、受け入れる児童生徒や保護者と面接を行い、日本語の習得状況も含め、学校生活で配慮すべきことを確認しております。また、日本語指導職員の配置においては、受け入れ時の面接の他、日頃の学習指導の中で、当該児童生徒の学習に必要な力の把握に努めております。

●外国人児童生徒が、学校の授業に学習言語の習得が必要であると考えられる場合、その習得のための支援はどのような基準・方法で行われるか。

○学校教育部長 児童生徒の状況に応じて、日本語指導職員による個別指導を行ったり、上尾市国際交流協会などの外国人子ども教室や日本語教室を案内したりしております。

●田中 一崇 議員

・ 予防接種について

●市内の小中学校でのインフルエンザによる学級閉鎖等の過去3年間の件数と、今シーズンの状況を教えてほしい。

○学校教育部長 平成28年度の学級閉鎖は延べ115学級、29年度は169学級、30年度は95学級でございます。今シーズンにつきましては、例年より早く9月上旬に学級閉鎖を実施した小学校があり、12月10日現在の累計は、12学級でございます。

●昨年度、市内の小中学校の教職員がインフルエンザにり患した件数を教えてほしい。

○学校教育部長 教育委員会に報告のあった教職員の、り患状況でございますが、平成30年度は5名でございます。

●池野 耕司 議員

・ 貢献寿命をのばす取組みについて

●ノルディック・ウォーキングの普及状況について①ポールの利用状況について(数や保管場所含む)

○教育総務部長 ノルディック・ウォーキングのポールにつきましては、現在24セット所有しており、市民体育館の倉庫に保管しております。これまでの利用状況は、スポーツ推進委員の研修会のほか、地域での指導者を目指す方を対象とした講座、また、各公民館においても教室を開催しております。

●ノルディック・ウォーキングの普及状況について②ポール貸し出しの周知方法について

○教育総務部長 ポールは、市主催事業の講座や指導者育成用の研修等で使用するために購入したもので、一般貸し出しはしておりません。

●ノルディック・ウォーキングの普及状況について③公民館事業としての実績について

○教育総務部長 公民館でのノルディック・ウォーキングの普及状況ですが、平成28年度大石公民館と大谷公民館で講座を実施し、現在大石公民館ではノルディック・ウォーキングのサークルが活動しております。

〔令和元年12月18日(水曜日)〕

●小川 明仁 議員

・ 予算執行状況と編成について

●今年度予算から新たに始まった政策企画提案制度の放課後子供教室運営事業について、進捗状況や課題、今後どうしていきたいかを知りたい。

○教育総務部長 今年9月から大石小学校と原市小学校の児童を対象に、隣接する大石公民館・原市公民館を会場として、週2日、放課後子供教室を開催しております。参加人数は大石公民館が10人、原市公民館が35人です。公民館を活動場所とする地域の大人などが指導者となり、ささら獅子舞などの郷土芸能、地域の歴史を学んだり、季節の行事や工作、実験など様々な体験活動を行っております。参加している子供と指導者となる大人、また子供同士に良好な関係がはぐくまれ、公民館を核としたコミュニティづくりの礎が築かれつつあると考えています。改善点については、来年度事業に活かして参りたいと考えております。また、事業を安定的に継続していくためには学校・家庭・地域の協力体制の整備が課題と考えておりますので、引き続き検討してまいります。

●新道 龍一 議員

・ 子ども達の安心・安全の確保について

●スクールガード・リーダーの活動内容と人数は。

○学校教育部長 スクールガード・リーダーは、埼玉県教育委員会の事業でございます。活動といたしましては、担当小学校を巡回して安全確認をしたり、学校安全ボランティアとともに小学校の登下校の見守りや通学路の危険箇所点検等を行ったりしており、1校に1人ずつ配置されております。

●スクールガード・リーダーの人は。

○学校教育部長 スクールガード・リーダーは、各小学校からの推薦に基づき、埼玉県教育委員会が委嘱しております。PTA役員、警察官OB、自主防犯ボランティア役員等がスクールガード・リーダーとして活動しております。

●スクールガードの活動内容と人数は。

○学校教育部長 スクールガードは、学校安全ボランティアとして、子供たちの見守り活動を行っている方々です。主に学校応援団や自主防犯ボランティアの方々も活動しており、人数は、市内で約1,600人です。

●市内の通学路において、スクールガードが立っていない箇所があるか。

○学校教育部長 スクールガードによる見守りは、全ての小学校の通学路で行われております。

●スクールガード・リーダーやスクールガードの更なる養成に向けて、検討する必要があるか。

○学校教育部長 子供たちが事件や事故に巻き込まれることがまれではない社会状況となっている中で、学校安全ボランティアを確保していくことは、重要な課題と認識しております。

●スクールガード・リーダーの活動について、県はどのような支援をしているのか。

○学校教育部長 埼玉県教育委員会は、帽子とベストを支給しておりますが、活動費の補助や報酬等の支給はございません。

●スクールガード・リーダーの方々から要望はあがっているか。

○学校教育部長 新たな担い手の確保、散歩や買い物等の際に行う「ながらパトロール」の推進、警察によるパトロールや取り締まり強化などの要望がございます。

**●スクールガード・リーダーの服装については、ベスト、帽子などが支給されている。冬の朝は、ベストだけでは、寒い
ため、上着や羽織る長袖を支給すべきと思うが、見解は。**

○学校教育部長 ベストと帽子は、スクールガード・リーダーであることを示す目印として、埼玉県教育委員会が支給しておりますので、防寒着につきましても、県教育委員会に要望してまいります。

●齋藤 哲雄 議員

・ 子どもたちの教育・環境について

**●今年度、危険箇所改善要望書に基づき、教育委員会学校保健課が実施した通学路安全対策の実施箇所と
今後の予定は。**

○学校教育部長 今年度、教育委員会では、8月に大谷小学校正門前道路のグリーンベルト敷設工事を実施いたしました。また、12月中に芝川小学校の正門前道路のグリーンベルト敷設工事を予定しております。

●東町小通学路のニツ宮5差路の対策を教えてください。

○学校教育部長 ニツ宮5差路につきましては、毎年度、市PTA連合会より、路面標示やグリーンベルトの敷設など、様々な要望をいただいております。対策といたしましては、今年度、薄くなった路面標示の補修工事を実施しましたが、グリーンベルトにつきましては、道路幅が狭いため、敷設が困難な状況でございます。また、上尾警察署に、新たな交通規制の検討や一時停止違反等の取り締まり強化を要望しております。

**●子供会活動のイベントを学校体育館で毎年実施していたが、校長先生が変わると実施できなくなりました。
コミュニティ・スクールが実施され、学校運営において地域との連携を深めていかなければならない中、このよ
うな地域とのかかわりでよいのか。**

○学校教育部長 学校施設の貸し出しにつきましては、学校教育に支障がない範囲で、地域との連携の視点を踏まえ、各学校・地域の実情に応じて、学校長の判断で行っております。

●教職員のメンタル不調を防ぐためにどのような対策をしているのか伺う。

○学校教育部長 各学校では、教職員が一人で問題を抱え込まないよう、組織で問題解決を図るよう

にしております。また、在校時間が長時間化している教職員には、管理職による面談を行っております。教育委員会といたしましては、毎年、管理職を対象とした労働安全衛生研修会を実施するほか、医師による面接指導を受けることができる仕組みを整えるなどしております。

●メンタル不調により休職している教職員が復帰するためにどのようなことを行っているか伺う。

○学校教育部長 教職員の復職については、埼玉県教育委員会の 職場復帰訓練実施要領に基づき、準備訓練や職場 リハビリテーションを行います。学校では、管理職を中心に、休職中の教職員の不安を解消し、職場に円滑に復帰できるよう努めております。

●教職員の働き方改革が喫緊の課題だが、どのような改善を行っているのか伺う。

○学校教育部長 各学校においては、学校行事や会議を精選し、ICT機器を活用して校務を効率化したり、教材を共有したりするなど業務改善に努めております。また、ICカードによる在校時間の管理や定時退勤日の設定などを通して教職員の意識改革を図っております。教育委員会では、アップスマイルサポーター、スクールサポートスタッフなどの支援員の配置や、学校閉庁日の設定などにより教職員の負担軽減を図っております。

●親が子育てでストレスを溜めたり、メンタル不調になってしまったりしてしまうと、児童・生徒にも影響を与えてしまうと考えられるが、教育委員会は、保護者に対し、どのような関わりをしているのか。

○学校教育部長 教育センターでは、不登校や、学習、発達に関する悩みなどを抱える保護者に対して、来所、電話、メールでの教育相談のほか、スクールソーシャルワーカーによる訪問相談も実施しております。

●平田 通子 議員

・ 子どもの居場所づくりについて

●放課後子供教室が2か所でスタートしたがその開催状況は。

○教育総務部長 今年9月から大石小学校と原市小学校の児童を対象に、隣接する大石公民館・原市公民館を会場として、週2日、放課後子供教室を開催しております。参加人数は大石公民館が10人、原市公民館が35人です。公民館を活動場所とする地域の大人などが指導者となり、ささら獅子舞などの郷土芸能、地域の歴史を学んだり、季節の行事や工作、実験など様々な体験活動を行っております。参加している子供と指導者となる大人、また子供同士に良好な関係がはぐくまれ、公民館を核としたコミュニティづくりの礎が築かれつつあると考えています。

●コーディネーターやボランティアの役割は。

○教育総務部長 放課後子供教室コーディネーターの役割は主に事業の企画・運営、講師の選定などです。また、ボランティアである「教育活動サポーター」の役割は教室開催時の安全確保、教室終了後の児童の保護者への引き渡し、放課後児童クラブに通う児童の児童クラブへの送迎です。その他、児童の指導を公民館を活動場所とする地域の大人などがボランティアとして行っています。

●子供の居場所を増やす必要性の認識は。

○教育総務部長 参加児童は小学1年生から5年生までと幅広く、参加率も98パーセント以上と良好です。児童からは「いろいろ体験できて楽しい」「友だちやおじいちゃん、おばあちゃんと遊べて楽しい」、保護者からは「遠くに住んでいる友だちと交流できるのがよい」「宿題も楽しくやってくるの

で、よかった」などの声が多く寄せられており、子供の居場所づくりの必要性は認識しております。

●放課後子供教室の今後の計画について伺う。

○教育総務部長 今年度の実施内容を踏まえ、改善点については、来年度事業に活かして参りたいと考えております。また今後、事業を安定的に継続していくためには学校・家庭・地域の協力体制の整備が課題と考えており、引き続き検討してまいります。

・ 瓦葺・尾山台・原市地域の諸問題

●この地域で公民館の講座の実施を求めるが見解は。

○教育総務部長 原市地区には、原市公民館や原市集会所があり、地域との交流を目指し、様々な主催事業を実施しており、多くの市民サークルの活動場所としてご利用いただいております。瓦葺地区には、市民の皆様の生涯学習の場としてご利用いただける図書館瓦葺分館集会室のほか、瓦葺ふれあいひろば、尾山台みんなのひろばがございます。地域の方々からご要望があれば、市の職員が地域に出向く市政出前講座や、まなびすと指導者バンクに登録されている指導者の紹介など、身近な生涯学習の機会を提供しております。

●防災、子育て支援、市民活動に参加する人材を育て、地域での課題解決につなげるために拠点となる公民館設置を求めるが見解は。

○教育総務部長 公民館は昭和57年に策定された上尾市総合計画の中で、旧6か町村に各1館公民館を設置することを目指し、地域公民館・地域体育館・地域図書館を複合する形で位置付けられました。平成5年の大谷公民館開館をもって現在の6館体制が整っており、今後も6公民館を拠点施設として、現在求められている課題解決型の生涯学習の充実を図ってまいります。

〔令和元年12月19日(木曜日)〕

●池田 達生 議員

・ 都市計画道路・西環状線の現状と事業化について

●平方東小、大谷小の児童数の今年度と来年度の状況は。

○学校教育部長 地頭方地区児童の就学先につきましては、議長の許可を得て事前にお配りした資料の通り、今年度、平方東小学校48名、大谷小学校50名、令和2年度見込み数は、平方東小学校55名、大谷小学校44名でございます。

●登下校サポーター制度とその配置状況及び予算額、賃金は。

○学校教育部長 登下校サポーター制度とは、通学区域を見直した地域に低学年しかいない場合に、通学途中の安全を確保することを目的として、登下校サポーターを配置する制度でございます。現在、4地区4校に配置しており、今年度の予算額は399万6千円、時給930円でございます。

●糟谷 珠紀 議員

・ 子どもたちに豊かな未来を

●長時間労働改善への取組状況について伺う。

○学校教育部長 各学校においては、学校行事や会議の精選、ICT機器の活用など業務改善に努めております。また、ICカードによる在校時間の管理や定時退勤日の設定などを通して教職員の意識改革を図っております。教育委員会といたしましては、支援員の配置や学校閉庁日の設定などにより教職員の負担軽減を図っております。

●教員の変形労働制に対する見解を伺う。

○教育長 働き方改革を推進するための総合的な方策の一環として、国及び県の動向を注視してまいりたいと考えております。なお、変形労働制につきましては、教職員が長期休業中に休むことが可能かどうか踏まえ十分検討していかねばならないと考えております。

●市委嘱研究の実態と負担軽減についての取組について聞きたい。

○学校教育部長 上尾市内の全小・中学校が3年サイクルで2年間の委嘱研究に取り組み、授業や放課後の研修会など、計画的に研究を進めております。教育委員会では、研究発表の方法や配布する資料を簡素化することなど、負担軽減の視点から各学校を指導しております。

●委嘱研究のために、時間外勤務が著しいと考えるが市は認識しているのか。

○学校教育部長 委嘱研究が、御指摘のように教員の過度な負担とならないよう、各学校で計画的に進められるように努力しております。

●修学旅行の目的は何か。また、費用についてどう考えるか。

○学校教育部長 県や市が定めている実施基準において、修学旅行の目的については、「自然・文化・経済・産業・政治などについての見聞を広めるとともに、集団のきまり・公衆道徳についての望ましい体験を得させること」としております。また、経費につきましては、「目的の達成と保護者の経済的負担を考慮して、適正な額とする。」としておりますので、引き続き、保護者負担の軽減に配慮してまいります。

●修学旅行が京都・奈良でなくてはならない理由は。観光客であふれる京都・奈良がふさわしいのか。

○学校教育部長 修学旅行の行き先につきましては、各学校で決定しております。京都・奈良を各学校が選定している理由といたしましては、歴史的、文化的遺産が多く存在し、資料も豊富なことから、事前学習を充実させることができ、教育的価値が多く見込まれることが挙げられます。

●学校によって修学旅行費の差が最大12,000円。適正な額の範囲か。

○学校教育部長 各学校では、複数の旅行業者に見積りを依頼して、内容と価格を考慮したうえで、利用業者を決定しておりますが、実施時期や学校規模により、宿泊費等の費用に差が生じております。

●児童生徒が持ち運ぶ学習用具の軽減について、平成30年9月定例会において、学校教育部長が「対策について検討してまいります」と答弁しているが、その後、どのような対策をとったか。

○学校教育部長 教育委員会といたしましては、県の通知に基づき、保護者等と連携し、発達段階や学習上の必要性を考慮した柔軟な対応をするよう各学校を指導しております。

●置き勉は各学校独自の判断でいいのか。

○学校教育部長 児童生徒の発達段階や学習上の必要性から、一律に判断することは困難でありますので、県の通知で示された工夫例を参考にし、各学校で判断しております。

●平成26年4月の給食費値上げ当時と比べ、現在の給食に質や量の変化があったか。

○学校教育部長 平成26年度からの給食費値上げ以降も主食や牛乳等の食品価格が上昇してきております。学校給食では、献立や物資選定を工夫し、食材費の抑制に努めており、質や量を落とさず、安全安心で栄養価のバランスのとれた給食を提供しております。

●学校給食の献立の写真について、学校のホームページ等を活用し、積極的に情報発信していくことが必要かと思う。教育委員会の考えはいかがか。

○学校教育部長 学校給食への関心、理解を深めるためには、様々な媒体を活用し、情報発信することは有効であると考えます。教育委員会といたしましては、情報発信の方法につきまして研究してまいります。

●学校給食費について、第3子以降無料にするなど、上尾市独自の 방법으로、給食費負担軽減策を導入することは可能か。

○学校教育部長 本市の学校給食の運営に係る費用については、学校給食法の規定に基づき、食材費のみを保護者にご負担をいただいておりますことから、学校給食費の負担軽減策は考えておりません。

・ 20年後の上尾市を見据えて

●図書館のあり方検討の進捗状況は。

○教育総務部長 図書館の在り方については、図書館長の諮問機関である上尾市図書館協議会に諮問し、今年度中に答申をいただく予定でございます。同協議会につきましては、今年度、3回開催しており、アンケート結果や現状整理を踏まえ、図書館の目指すべき姿や留意すべき点など議論していただいているところです。

●今後実施予定の図書館利用者アンケートの方針や目的、内容などについて伺う。

○教育総務部長 図書館の利用者を対象としたアンケートにつきましては、今後策定する新たなサービス計画の参考とすることや、利用状況のモニタリングを行うことを目的として実施を予定しております。本年7月に実施した「上尾市図書館に関するアンケート」の質問項目の一部を内容とし、各館・室で実施していくことを想定しています。

●図書館本館の司書資格者の人数は。

○教育総務部長 現在、正規職員2名、一般職非常勤職員4名でございます。